

競技概要

Outline of Competition



競技種目 Competition category		競技概要 Outline of competition	配点 Awarded points
車検 Tech inspection		車両の安全・設計要件の適合、ブレーキ試験(4輪ロック)、騒音試験(所定の条件で排気音110dB以下)、チルトテーブル試験(車両45度傾斜で燃料漏れ無し。ドライバー乗車し車両60度傾斜で転覆しない)	—
静的競技 Static competitions	コスト Cost	予算とコストは、生産活動を行うにあたって考慮しなければならない重要な要素であることを参加者に学ばせることが狙い。車両の製造コストは325万円以下。車両を見ながら事前に提出したコストレポートのコスト精度、チームによる製造度合等を確認し、レポートのコストと車両との適合を審査する。一般に購入品目となる2つの部品について、製造プロセスなどの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価する。	100
	プレゼンテーション Presentation	開発車両の設計が「アマチュアの週末レース市場の要求に合致しており、製造販売で利益を出せることを製造メーカーの役員に納得させる」という仮想シチュエーションで行う。学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。	75
	設計 Design	事前に提出した設計資料と車両をもとに、どのような技術を採用し、どのような工夫をしているか、またその採用した技術が市場性のある妥当なものかを評価する。具体的には、車体および構成部品の設計の適切さ、革新性、加工性、補修性、組立性などについて口頭試問する。	150
動的競技 Dynamic competitions	アクセラレーション Acceleration	0-75m加速。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	75
	スキッドパッド Skidpad	8の字コースによるコーナリング性能評価。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	50
	※ オートクロス Autocross	直線・ターン・スラロームなどによる約900mのコースを1周走行する。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。エンデュランスは、このオートクロスの早いチーム順に走行する。	150
	※ エンデュランス Endurance	直線・ターン・スラロームを組み合わせた約900mの周回路を、チーム2名のドライバーが11周づつ走行し、合計22週のタイムを競う。	350
	燃費 Fuel economy	エンデュランス走行時の燃料消費で評価する。	50
合計 Total points			1000

※コースの長さは変更になる可能性があります。

The course length may be changed.

表彰スポンサー・他

イータス	共和電業	住友ゴム工業	静岡県
日本自動車工業会	サイバネットシステム	住友スリーエム	エコパ(小笠山総合運動公園)
堀場製作所	ソリッドワークス・ジャパン	東洋ゴム工業	トヨタ自動車東富士研究所
小野測器	FISITA	ブリヂストン	日本大学
エイヴィエルジャパン	VSN	プレス工業	静岡大学
日本SGI	エムエスシーソフトウェア	横浜ゴム	静岡理科大学
アサヒ飲料	新日本石油	自動車技術会	